

特別
歷史
跡
特別天然記念物

日光杉並木街道

日光市歴史民俗資料館

1. 杉並木とは

日光市内にある杉の植えられた街道や杉そのもののことを「杉並木」や「並木」などと呼んでいます。今市で合流する「日光街道」「例幣使街道」「会津西街道」の3つの街道があり、全体のことを「日光杉並木街道」と呼んでいます。

杉並木は、江戸時代のはじめごろに植えられたもので、「日光杉並木街道附並木寄進碑」として国の特別史跡と特別天然記念物にもなっている貴重な文化財です。また、「世界で最も長い並木道」として『ギネスブック』にものっています。



ギネスブックに紹介された日光杉並木街道

2. 杉並木のはじまり

1617（元和3）年、江戸幕府をひらいた徳川家康をまつる東照宮（はじめは東照社とよばれた）ができると、日光にむかう3つの街道と宿場もつくられました。

杉並木は、家康の家来であった松平正綱が20年以上をかけて街道に杉を植えて



日光連山と日光杉並木街道（平成30年12月撮影）
（公財）日光杉並木保護財団提供

東照宮へ寄付したものです。そのことは、正綱の子である正信が街道のはじまる4つの場所にたてた並木寄進碑から知ることができます。

杉を植えはじめた年は、正綱が相模国甘縄藩（現在の神奈川県鎌倉市）の大名となった1625（寛永2）年ごろと考えられています。

●日光街道

江戸日本橋（東京）と日光神領を結ぶ道。5街道の一つ。

●例幣使街道

朝廷の使いである例幣使が毎年京都から日光へ来る時に通った道。

●会津西街道

会津若松（福島県）と日光を結ぶ道。新潟県や山形県へも通じていました。

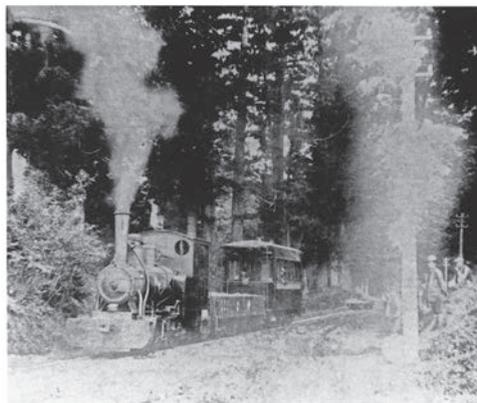


並木寄進碑（日光山内）

3. 切られた杉並木

江戸時代、杉並木は幕府によって手厚く守られていました。倒れた杉があった場合にはそこに苗を植えさせたり、杉を切った者には罰が与えられたりしました。

しかし、幕府がほろびて明治時代になると、杉並木は危機を迎えます。政府からは杉並木を全部伐採して売ったお金を財政の足しにしようとの意見が出されたり、会津西街道の倉ヶ崎と大桑町との間では、街道をまっすぐにしようとして杉1,000本が切られました。また、道路や鉄道の建設のために杉が切られることもありました。



倉ヶ崎付近をゆく下野軌道の汽車
会津西街道 1917（大正6）年頃

4. 杉並木が危ない!!

杉の本数は、2025（令和7）年3月末現在で1万2千42本あります。しかし、植えられたときは5万本あったともいわれており、月日とともに杉の数は減っています。

現在も毎年何本もの杉が強風や落雷などによって枯れたり倒れたりしています。



強風によって倒れた例幣使街道の並木杉

杉の本数と減った数 ※ 2025（令和7）年3月現在

年	本数	減った数
植えた頃 /1625（寛永 2）年	推定 50,000 本	—
1962（昭和 37）年	16,479 本	推定 33,521 本
1981（昭和 56）年	14,587 本	1,892 本
1991（平成 3）年	13,325 本	1,262 本
2001（平成 13）年	12,768 本	557 本
2011（平成 23）年	12,439 本	329 本
2025（令和 7）年	12,042 本	397 本

（資料提供：栃木県生活文化スポーツ部文化振興課）

5. 杉並木を守る !!

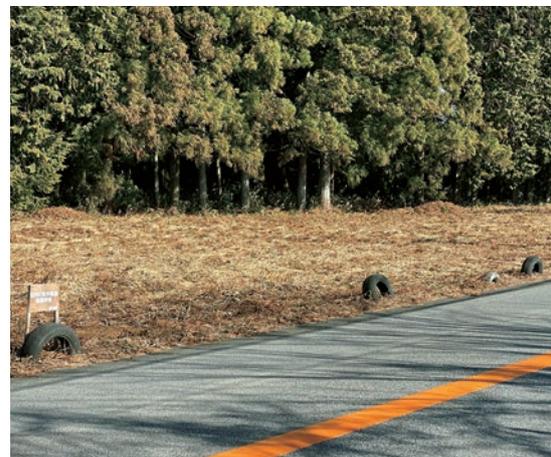
貴重な文化財である杉並木を将来に残すため、日光杉並木保護財団や東照宮、栃木県、日光市などの杉並木に関係する団体が協力して次のような対策を行っています。

① 法律によって制限する

杉並木は国の特別史跡と特別天然記念物に指定（史跡：1952（昭和 27）年、天然記念物：1956（昭和 31）年）されており、文化財保護法という法律できびしく守られています。杉並木の杉を伐採することはもちろん、枝を切ることも禁止されています。さらに、杉が育つ環境を守るため、杉並木の敷地やその外側 20 m 以内の土地に許可なく看板を立てたり家を建てたりすることなどが制限されています。

② 杉並木を保護するための土地をつくる

杉並木の敷地の外側 20 m 以内には、一般の方や会社などが持っている土地があります。これらの土地に制限がかかると持ち主が土地を使えなくて不便なので、一部の土地は栃木県が持ち主から買いとっています。この土地は「保護用地」と呼ばれ、杉並木を保護したり、杉並木をよく知ってもらったりするために使われています。



日光街道・瀬川付近の保護用地

③杉の健康を回復させる

杉の健康を回復させるためには、杉の根を元気にすることが必要です。杉の根は横にのびますが、車が通りやすいように道路の土をとったため、根が出ている所があります。そのため、杉並木の土地がくずれているところに木柵をつかって黒土を入れたり、根がのびにくい道路の下にポカラという中があいているコンクリートブロックをうめたりすることで、杉の根がのびられる空間をつくっています。

また、杉並木の近くにある木を伐採することによって、杉がほかの木に負けてしまわないようにしています。



木柵がつくられたところ（例幣使街道）



ポカラブロックを埋めているところ（日光街道）

※木柵工延長 12,978 m。ポカラ工延長 219 m

（2020年3月末現在、資料と右の写真提供：栃木県生活文化スポーツ部文化振興課）

④杉並木を走る車を少なくする

杉並木は大切な道路となっており、毎日多くの自動車を通ります。そのため、排気ガスで杉の健康状態が悪くなったり、事故などで杉がいたむ可能性があります。そこで、杉並木を通らなくてもよいようにバイパス（迂回道路）をつくることが行われています。また、杉並木を通る自動車が少なくなるように、信号が青になっている時間を短くするなどの工夫がされています。



例幣使街道板橋バイパス



日光街道水無バイパス

知ってる？ 杉並木オーナー制度

杉並木を守るためにさまざまな対策が行われていますが、これらの対策にはたくさんのお金がかかります。そこで栃木県では、杉並木の保護に賛同された方に、杉並木の杉を1本1,000万円で購入していただき、そのお金を運用して増えた分のお金を杉並木の保護にあてています。

2025（令和7）年3月末現在で、561本の杉に346人のオーナー（所有者）がいます。



日光杉並木オーナー証書と日光市のオーナー杉

杉並木は植物の宝庫

杉並木の土地は昔から大切に守られてきたため、さまざまな植物が生えています。2006年から2009年にかけての調査では、1,055種もの植物が確認されています。山に生える植物や暖かい地方の植物も見つかっており、杉並木は植物の宝庫といえます。ここ杉並木でしかみられない「ナミキチゴユリ」という貴重な植物も確認されています。



ナミキチゴユリ
(今市の自然を知る会 神山隆之氏提供)

杉並木と人々の暮らし

杉並木は、江戸時代には、日光山や日光奉行所の管理のもと、沿線の人々による道の修復や清掃など、地道な活動により守られました。また、杉並木の枯れ枝や落ち葉は、石油などの化石エネルギーが出現するまで、沿線の人々の生活に不可欠なものでした。

道路整備や鉄道の敷設など、時代の変遷の中で、その様相を変えてきた杉並木ですが、これからも人々と共生しながら、守り伝えていかなければなりません。



杉並木と人々の暮らし（昭和30年代）

6. 日光市歴史民俗資料館の役割

日光市歴史民俗資料館は、栃木県が2019（令和元）年8月に策定した「日光杉並木街道保存活用計画」のなかで、観光客や地域住民が日光杉並木街道に関する歴史と文化を学習するための「ビジターセンター」として位置付けられています。

資料館では、子供たちが文化財としての日光杉並木街道を学んだり、身近に鑑賞する機会の確保に努めるため、学習機会の提供や日光杉並木街道を教材とした出前講座などを開催し、子供たちに日光杉並木街道に対する理解・関心を深めてもらうよう活動を行っています。



日光杉並木街道の展示



杉並木の校外学習

ムサッペとモモちゃんに
きいてみよう!!

杉並木びっくり Q&A



Q: 日光杉並木街道の長さ（延長）はどのくらいあるの？

A: 国の特別史跡・特別天然記念物に指定されている長さは37km（寄進碑まで含む）にもなるんだ。『ギネスブック』に世界でいちばん長い並木道としてのっている長さは35.41km（寄進碑まで含まない）なんだ。家などがたっているところを除いて、実際に杉がはえている場所の長さは27.7kmだよ。

Q: 杉の高さはどれくらいあるの？

A: いちばん高い杉の木は、日光街道の46m（15階のビルくらい）で平均すると29.2m（8～9階くらい）なんだ。杉は街道の日なた側の乾いた場所にある杉よりも、日かげ側で水路の近くなどの湿った場所にある杉の方が大きく生長するんだ。

Q: 杉の太さはどれくらいあるの？

A: 胸の高さの直径でいちばん太い杉は例幣使街道にある文挾の大杉の約212cmで平均すると約73.5cmなんだ。これは幹が空洞になっている並木ホテルを除いた太さなんだよ。

Q: なぜ杉の木をたくさん植えたの？

A: 杉の木はまっすぐ上にのび、神様の木として神社などに植えられているよね。杉が植えられている場所は日光神領（東照宮などの年貢をあつめるための領地）だから、東照宮へ向かう参道（お参りをする道）としてたくさんの杉を植えたんじゃないかっていわれているよ。

Q: 杉並木はだれが持っているの？

A: 杉並木の敷地（土地や道路）は国が持っていて、栃木県が管理と保護を行っているよ。杉の木は東照宮が持っているんだ。



杉並木を歩こう!!

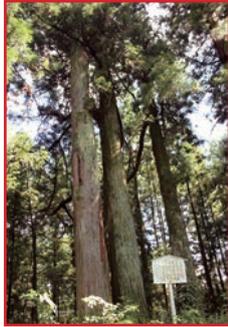


杉並木は江戸幕府の将軍や大名、例幣使や旅人たち、また、イザベラ・バードやエドワード・モースなど外国の有名人も通った道です。多くの名所や名物杉もあります。さあ、みなさんも杉並木を歩いてみましょう!!



②並木太郎

杉並木の中で一番立派な杉。高さ約45m、胸の高さの直径が約1.8mあります。



③砲弾打ち込み杉

戊辰戦争のとき、官軍が放った大砲の弾が当たった跡が残っています。



⑤桜杉

山桜の種子が芽吹き、杉の幹内を通って地面に根付いたもの。春には花を咲かせます。

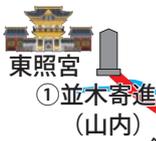


⑥並木寄進碑 (大桑)



⑦二重並木

杉並木が二重になっている場所で、大名行列がすれ違うためのにつくられたという説があります。



①並木寄進碑 (山内)



①並木寄進碑 (山内)

ポカラ工法 施工箇所 (野口～瀬川)

④杉並木公園

公園横の杉並木は、車がほとんど通らず大きな杉が多いので歩くにはおすすめです。公園には杉線香の粉を引くのに使われた水車もあります。



カラクリ水車小屋



⑩十石坂

東照宮造営に使用する石材(亀腹石)を運んだ際、この急な坂を超えるのに人足の食料が十石(二千人分)に及んだという言い伝えが名前の由来です。



⑪地震坂

1949(昭和24)年におきた今市地震の際に、並木杉ごと地すべりで動いてしまい、現在もその痕跡をとどめています。地すべり坂とも呼ばれています。

3街道のデータ ※2025(令和7)年3月現在

	日光街道	例幣使街道	会津西街道	合計
一里塚 ●	水無	小倉	大桑	7か所
	七本桜	板橋		
	瀬川	室瀬		
宿場	大沢	文挾	大桑	6か所
	今市	板橋		
	鉢石			
街道延長	16.52km	13.17km	5.72km	35.41km
杉並木延長	12.4km	12.5km	2.8km	27.7km
杉の本数	4,903本	6,142本	997本	12,042本

(資料提供: 栃木県生活文化スポーツ部文化振興課)



⑧並木ホテル

七本桜の一里塚にある杉で、木の根が高く露出し4人くらいが入れる大きな空洞があります。



⑨並木寄進碑 (大沢)



⑫並木寄進碑 (小倉)

特別史跡 日光杉並木街道
特別天然記念物
発行: 日光市歴史民俗資料館
住所: 栃木県日光市今市 304 番地 1

電話: 0288 (25) 7333
FAX: 0288 (25) 7334
改訂日: 令和7年3月